

こんなお宅は狙われますよ

台見州
禁止転用

1. 外から部屋の中が見通せる状態を作る。

家の中が見渡せることで、家族構成や生活習慣が容易に把握できる。また家具の場所などの情報も事前に収集でき物色時の役に立つ。

2. 鍵を玄関周辺に置く。

泥棒は事前に侵入する家を物色しています、鍵を置くところ、または鍵を拾うところを目撃されれば、必ず狙われます。

3. 毎日決まった時間に家を留守にする。

毎日決まった時間に留守をする家は泥棒にとっては安心して仕事の出来る理想的な家?となってしまいます。

4. 庭やベランダなど見通せる場所が乱雑になっている。

整理整頓がなされていない家は、侵入された事を気づかないケースが多く貯金の引き出しや、クレジットの使用が可能と判断されやすい。

5. 表札に住所や、家族全員の名前を表記している。

家族構成が把握でき、留守の確認が行いやすい。

6. 近所との交流を持たない家

日頃から近所との交流のない家は 万一侵入の際に近所の住人に目撃されても不信感を抱かれないことからターゲットとなりやすい。

対応手段

- 1 外から部屋の中が見通せないように昼間はレースのカーテンをつける、また外が暗くなったらカーテンを閉めるかシャッターをおろすよう心掛けましょう
- 2 家族の必要数の合い鍵を作り 個々に保有することで、玄関周辺には絶対置かないようにしましょう。
- 3 可能であれば出かける時間をばらつかせる、不可能なら防犯システムをつけ狙われにくい環境を作りましょう。
- 4 外部から覗くことの出来る場所は日頃より整理整頓に心掛け、侵入者のターゲットにならない様にしましょう、またそうする事で近隣からの評価も上がります。
- 5 表札は苗字のみにして不必要な情報の表示は避ける。
- 6 すれ違い時の挨拶や、回覧板の受け渡しなど出来る限り近隣の方と会話をするように心掛けましょう

最近の泥棒の下見方法とは？

最近の下見は怪しまれないような格好で行うことが一般的で、作業服をきてガス、電気、水道などのメーター検針の振りをして宅内を覗き込むケースや、スーツ姿で訪問販売員のふりをしたり、宅配業者の格好で荷物を片手に留守宅を物色するなど(目撃されても怪しまれにくい)さらに酷いケースではチラシを郵便受けに入れる振りをして電話料金、クレジット請求書などの個人情報盗んでいく場合もあります。とにかく見知らぬ人には声をかける習慣をつけましょう。また受話器を取ると無言で切る電話がかかってきたり請求書などの郵便物が届かない場合は狙われている可能性があるので注意が必要です。

